

褐毛和牛の一泌乳期における継続2仔哺育試験

黒肥地一郎*・木村貞夫*・美濃貞治郎*

KUROHIEDA, I., KIMURA, S. & MIYANO, S. Successive Suckling Experiment with Two Calves during the One Milking Period in the Japanese Brown Breed Cattle

一般に泌乳期の長い褐毛和牛の余乳の利用と乳用雑種牝犢の利用を図るため褐毛和牛の一泌乳期に自産犢とホルスタイン雑種牝犢を連続哺育させた所良好な成績を示した。

試験方法 供試母牛、褐毛和種、6才、4産目、乳徴中の下

母牛哺育期間	犢 哺 育	飼料給與開始
分娩～90日 (90日)	褐毛(牝)生時～90日 令(母仔同居)	90日令
91日～234日 (143日)	木雜(牝)生後8日～ 150日令 (1日4回哺乳)	29日令

犢用濃厚飼料 (重量比)

種類	数	米糠	大豆粕	脱脂 麵粉	玉蜀黍	コロイ カル	食塩
配合率	30.0	18.5	25.0	5.0	18.0	2.0	1.5
成分	乾物	85.3%	D.C.P	18.2%	T.D.N	7	0.1%

成績 (1) 3ヶ月離乳褐毛和種牝犢の發育 6ヶ月自然哺乳のものと同様と認められる。

(2) 3ヶ月離乳褐毛和種牝犢の6ヶ月令迄の採食量 6ヶ月哺乳の場合の離乳迄の採食量に較べ濃厚飼料において約1.5倍量の給与と推測される。

(3) ホルスタイン雑種牝犢の發育

月令	部位	体高 cm	胸深 cm	体重 kg
生時		74.0 (75.5)	28.5 (29.7)	53.4 (43.5)
2月		85.6 (84.2)	36.0 (35.8)	89.0 (71.2)
3月		90.5 (89.1)	37.5 (39.1)	116.0 (97.1)
4月		97.0 (93.6)	44.0 (42.1)	150.0(120.7)
5月		99.0 (98.5)	48.0 (45.2)	185.0(147.8)

備考 () 内はホルスタイン種平均發育値

生時から比較的大きいものに属したがその後の發育も良好と認められた。

(4) ホルスタイン雑種牝犢の自然哺乳量

試験牛月令	1月	2月	3月	4月	5月	総量	
1日	哺乳量(kg)	6.4	5.8	5.4	4.9	2.5	732.8
平均	蛋白量(kg)	0.26	0.27	0.27	0.24	0.12	34.0

備考 *哺乳前後の体重差により推算

哺乳量は普通人工哺乳による場合に較べて少ないが、牛乳中の蛋白質含量からみれば少ない量ではない。(一般牛乳中の蛋白質含量 3.1%, 褐毛和牛乳中の蛋白質含量 4.36%)

(5) ホルスタイン雑種牝犢の採食量 (kg)

(生後 29日～150日)

飼料	月令	1月	2月	3月	4月	5月	総計
濃厚飼料		—	9.8	19.5	43.1	74.0	146.4
乾草*		—	3.4	9.6	22.6	21.1	56.7
切わら		—	—	5.8	18.2	24.1	48.1
青草**		—	—	74.3	182.4	167.5	424.2
ビートパルプ		—	—	—	2.4	5.3	7.7

備考 * イタリアンライグラスと野草の混合

** 青刈燕麦, 雲苔, 青刈玉蜀黍

*九州農業試験場